

設計、施工上の注意事項

化工機商事株式会社

- ・他の塗料に比べて必要な塗膜厚が厚いので、施工時に一度の厚塗りを行うと乾燥不良となる恐れがあります。1回あたりの塗布量を守って施工及び管理をしてください。また、施工開始から上塗り終了まで十分な施工期間・乾燥期間を確保してください。
- ・メタリックの上塗りは割れや剥がれ、膨れが発生しやすくなりますので、使用を控えてください。
- ・耐火塗料の主材は、水分に弱いため水に触れると膨れや剥がれ等が起こります。上塗を塗装するまでは水分に触れないよう、雨養生対策などを行い十分な乾燥期間をとってください。
- ・取り合い部は耐火塗料が水に触れないよう、ノンブリード型のシーリング材を使用してください。
- ・雨水などが溜まるような部位は上塗り塗膜が著しく劣化し、その結果耐火塗料の主材が膨れや剥がれを起こす可能性があります。そのような部位への使用は控えてください。
- ・耐火塗料は他の塗料とは異なり、上塗りの塗装後も塗膜が柔らかい状態です。塗膜の凹みや損傷の恐れがあるので、物理的な衝撃を与えないでください。
- ・耐火塗料面に取り合う各種金物や設備関係は、原則先付施工をお願いします。もし耐火塗料施工後に設置する場合は、塗膜の損傷を防ぐための措置をお願い致します。

維持管理について

・耐火塗料とは、主材が発泡して断熱層(炭化層)を形成することで鉄骨を火災から守ります。そして、上塗りが主材を保護することで耐火性能を維持しています。そのため建物が供用される期間において、耐火性能の維持を目的とした建物所有者様による計画的な点検とメンテナンスを行ってください。点検により異常が認められた場合は、専門技術者による詳細な点検を実施して、その結果に基づいて補修が必要となります。点検の種類には、日常点検、精密点検及び臨時点検があり、下記に示す内容とします。

種類	対象	方法	時期	実施者
日常点検	外観	目視	日常的に実施	建物所有者 もしくは管理者
精密点検	外観	目視、指触	3～5年に1回	建物所有者 又は管理者 又は委託された者
臨時点検	専門技術者 による検討	専門技術者 による検討	日常点検で異常 が認められたとき 浸水、地震、火災 などを受けたとき	専門技術者

※計画的な点検を行い、上塗りの塗増しや塗膜劣化部の補修を実施することで、長期にわたり健全な耐火性能を維持します。